

令和7年9月9日

件名 クビアカツヤカミキリ対策の次なる一手を支援します

令和2年7月に、市内の農地で初めて特定外来生物クビアカツヤカミキリによる被害が確認されて以降、被害は徐々に増加し、果樹生産への大きな影響が懸念されています。

市では、これまで果樹農家への薬剤の配布や被害樹の伐採、ブラックライトの特徴を生かした卵の物理的防除など、様々な取り組みを行ってきました。

令和6年には、高崎市クビアカツヤカミキリ対策協議会（以下「協議会」という。）を設立し、防除対策研修会、生産者同士の意見交換、一斉防除など、クビアカツヤカミキリ拡散防止に取組み、関係機関、農家の意識の向上を図っています。

協議会では、これらの活動に加え、様々な防除方法の研究・検討を進めています。このたび、モモとプラムの生産部会員全員の協力のもと、従来の薬剤とは効果の仕組みが異なる「アクセルフロアブル」による防除試験を実施することになりました。この薬剤は、樹皮下へ深く潜り込む前の幼虫に対して特に効果が期待されます。また、防除試験と併せて現地での薬剤散布研修会も開催します。

○ アクセルフロアブルによる防除試験

（１）目 的 令和6年9月に、農薬取締法に基づき登録されているアクセルフロアブルの適用が拡大され、モモ・プラム樹幹への高濃度散布（100～200倍）が可能となりました。この手法によるクビアカツヤカミキリ幼虫への殺虫効果を検証し、防除対策をさらに強化していきます。

（２）対 象 モモ及びプラムの生産部会員全員 約70名のほ場

（３）試験方法 対象者へアクセルフロアブルを配布し、各自決められた期間及び方法で散布を行い、散布前後の果樹の状況を記録し、検証する。

（４）薬剤散布研修会

ア 日 時 令和7年9月25日（木）①午前の部 午前10時～11時頃
②午後の部 午後2時～3時頃

イ 場 所 高崎市剣崎町481（モモの生産ほ場）

ウ 対象者 モモ及びプラムの生産部会員

エ 講 師 薬剤メーカー担当者

【本件に関する問い合わせ】

農政部農林課

電話：027-321-1261